# 新病院における業務要求水準書

# 病院運営業務(医療法に基づく政令8業務) (ク) 清掃業務

#### 1 要求水準

SPCは、次に示す要求水準を満たす業務を提供する。

#### (1) 医療サービスの向上

ア 病院職員との協働により、院内感染予防に対応すること。

院内の清掃委員会(仮称)での検討内容を基本にした清掃業務から実現する院内感染防 止策を構築すること。

塵埃・細菌等のモニタリングにより、病院の清潔管理を衛生学的見地から立証し、報告すること。

除菌洗浄剤などは、科学的な根拠のあるものを使用すること。

イ 八尾市立病院の医療機能を踏まえた対応をすること。

緊急性及び突発性といった面から、感染又は汚染された環境を迅速に修復、除菌又は消毒するための体制を整備すること。

清掃に関するクレームに迅速・的確に対応すること。

ICN (Infection Control Nurse)との連携を図り、業務の改善を図ること。

清掃におけるリスクマネジメントとして、清掃の品質管理システムを確立すること。

ウ 廃棄物の回収を適切に実施し、病院業務に支障のない状況に保つこと。

分別された感染性医療廃棄物、産業廃棄物、一般廃棄物を院内回収し、専用の運搬車で それぞれ所定の場所に安全な状態で集積すること。

集積した廃棄物は、廃棄物の種類に応じ、病院と契約をした収集業者へ引き渡すこと。 また、適切な処理場と契約締結の準備を行い、最終処分まで適正に処理されたことを確認 すること。

再生可能な廃棄物は分別し、再生可能な形で搬出・引き渡しを行うこと。

作業にあたっては、安全衛生に十分配慮すること。

#### (2) 患者サービスの向上

ア 患者や利用者に満足され、納得する病院環境を提供すること。

悪臭、異臭のない快適な環境を常に提供すること。

見た目が美しく、かつ衛生学的にも清潔な環境を提供すること。

患者からの清掃に関する要望、クレームを受け入れることが可能であること。

外来診療、入院生活の中における適切な時間に清掃を提供すること。

患者や職員から好かれ、コミュニケーションのとれる清掃職員であること。

清掃について患者・職員より定期的にアンケートをとり、清掃業務の改善に役立てること。

新規入院患者の病室は、常に標準的な準備がなされていること。 病室の清掃は極力短時間で、患者に不快感を与えずに行うこと。 清掃用具は常に整理整頓されていること。

### (3) コストの縮減

- ア 作業手順、工程策定時にライフサイクルコストの削減を前提とすること。
- イ 効率的な清掃業務の実現のため、特に人員配置に配慮すること。
- ウ 清掃方法や用具について、より効果的で効率的なものを常に追求すること。
- エ 環境レベルの維持について、定量的に示すことのできる定期検査報告を行うこと。
- オ 各種材質に対して、洗浄剤、消毒剤の安全かつ効果的な調達・使用を行うこと。

## 2 業務区分

当該業務に係る業務・作業について、下表のとおり病院とSPCで区分するものとする。

業務区分	業務内容		公共	民間
1 建物内部清掃	日常清掃			
	定期清掃			
2 敷地内清掃	日常清掃			
	定期清掃			
3 特別清掃				
4 消耗品管理				
5 ネズミ駆除・防除				
6 害虫駆除・防除				

: 主担当

## 3 費用負担区分

病院・SPC間における費用区分は下記のとおりとし、下記以外のものは別途病院・SPC間の協議のうえ決定するものとする。

費用項目	病院負担	SPC負担
労務費(福利厚生費、教育研修費、保健衛生費、交通費含む)		
清掃用具保管スペース		
什器・備品(掃除機、噴霧器、その他清掃用具一式)		
光熱水費(上下水道料、電気料、ガス料金など)		
被服費(SPC職員のユニフォームなど)		
通信費(固定電話の電話料金)		
通信費(電報料金、郵便料金、宅配便料金など)		
部門コンピュータシステム (インターフェイスの開発を含む)		
SPCの業務遂行上必要な諸帳票類(標準作業書など)		
SPCの業務遂行上必要な消耗品費(洗剤、ウェス、事務用品、石鹸、 トイレットペーパーなど)		
職員、患者用保清洗剤、薬剤の提供・補給		
官庁手数料		

凡例 : 負担者(SPC負担の場合、運営費として扱う項目)